

令和7年度 市川町商工会 「経営発達支援計画」 事業実施評価表

	指針別項目・事業	年度目標	実施結果	評価結果	委員評価・意見など
I. 経営発達支援事業の内容					
1. 地域の経済動向調査に関すること	地域の経済動向分析	年1回	年1回	A	調査実績としては良い。ホームページへの誘導方法や1年ごとの調査対象事業所の変更等も検討する。
	景気動向分析	年4回	年4回		
2. 需要動向調査に関すること	ゴルフクラブ製造業者支援	1者	2者	A	AI (Googleフォームや生成AI) を活用し、分析・レポート作成を行っており「見やすく効率的」である点は高く評価する。新たな出展事業所の掘り起こしを行う。
	食品製造販売等事業者支援	1者	1者		
3. 経営状況の分析に関すること	経営課題策定セミナーの開催	1回	1回	A	経営分析の支援数が増加しているのは良い。実施した分析そのものがいかに事業所意識の向上や意識に導けたかを踏まえる必要がある。
	経営分析の実施	15者	20者		
4. 事業計画策定支援に関すること	経営課題解決セミナーの開催	1回	1回	A	事業計画策定支援数が増加しているのは良い。DX関連セミナーを通じて業務効率化やブランディングの重要性を周知した点は評価できる。各申請においては電子申請が主流になっており、いつでもサポートできる職員の体制構築が必要である。支援事業所の新たな掘り起こしが必要。
	DX関連セミナーの開催	1回	1回		
	事業計画策定支援	15者	20者		
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ 対象事業者数	15者	20者	A	専門家3名体制による柔軟な窓口相談を実施し、売上増加事業所数は目標を上回る7社になったのは良い。目標値を前回計画の「2%以上増加」から「1%以上」に見直したことが着実な目標達成に寄与したと感じ取れる。フォローアップを通して柔軟に対応していく。
	頻度 (延回数)	90回	134回		
	売上増加事業者数	5者	7者		
	営業利益率1%増加事業者数	5者	7者		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	ジャパングルフフェア 展示会出展事業者数	1者	2者	B	出店による利益増加は即効性があるものではないため、2%の数値目標が達成できない現状を理解した。フードスタイル関西への出展では成果が見られ評価できるが、国際フロンティア産業メッセでは成約に至らないケースもあり、プレゼンテーション手法の改善や、業種選定の精査が課題である。展示会に頼らない需要開拓の模索や、出展を機にした事業者の意識改革 (プロモーション手法の学び) に価値を見出すことも必要である。一方、事業所にとっては、出展による学びは大きいはず。来年度は過去に出展のない展示会に臨む予定である。
	ジャパングルフフェア 展示会出展支援による成約件数/者	3件	4件		
	ジャパングルフフェア 売上増加額/者	15万円	65万円		
	ジャパングルフフェア 利益増加率/者	2%	1者		
	フードスタイル関西等出展事業者数	1者	3者		
	フードスタイル関西等 展示会出展支援による売上増加額/者	10万円	23万円		
	フードスタイル関西等 展示会出展支援による成約件数/者	2件	1件		
	フードスタイル関西等 展示会出展支援による利益増加率/者	2%	0社		
7. 事業の評価見直しをするための仕組みに関すること				B	経営指導員等の資質向上等については、複数の職員がAI活用を学習し、内部研修を実施している。一方で、AI活用弱者層への個別サポート (巡回指導等) も重要であると考えている。他の支援機関との連携について、よろず支援拠点や公庫との連携による創業塾の開催などは評価に値する。評価の客観性を高めるため、支援に直接携わっていない外部専門家の活用も検討してはどうか。
8. 経営指導員等の資質向上に関すること					
9. 他の支援機関や隣接商工会等との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 支援ノウハウ等の情報交換に関すること					
10. 地域経済の活性化に資する取組				A	町内小学校でのゴルフ体験や移動式トラックでのPRなど、地場産業の周知に協力できた。
総括的評価内容	新たな支援先の掘り起こし、職員の資質向上 (AI・DXの利活用) による伴走型支援、関係機関、特に市川町役場との連携強化による小規模事業者支援を継続する。				

A : 目標を十分達成している B : 目標を概ね達成している C : 目標を半分程度しか達成できていない D : 目標をほとんど達成することができていない